

科目名	日英比較文学特殊研究	担当者	サトウ 佐藤 サブロウ 三武朗	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>明治以降、日本文学は西洋、とりわけイギリス文学の影響を受け、現代文学の形態を整えるに至った。詩歌、ドラマ、小説において、その影響が顕著である。明治の若きインテリたちは、競ってイギリス文学を受容し、西洋近代の精神や思想を学んだ。若い作家や詩人は、イギリス文学の作法や思想を身につけ、創作に情熱を燃やし続けた。受講者は、比較文学の方法を学び、影響と受容の概念をしっかりと把握した上で、イギリス文学が及ぼした現代日本文学の特質を考察して欲しい。</p>		
到達目標	<p>イギリス文学の作家や作品から影響を受けた日本の作家、あるいは文学作品をまず見つけ出す。次に両者の比較、あるいは二つの作品を対照することによって、日本人作家や詩人が何を学び、作品に何を生かし、作品の世界を構築するに至ったかを指摘できるようにする。テーマ、登場人物、思想、構想、価値観、世界観など指摘できるようになると、現代日本文学の特徴が鮮明になるからだ。</p>		
学修方法	<p>まず手始めに、比較文学の方法を学ぶように薦める。影響、受容といった比較文学の基本的な概念を学び、現代日本文学への理解を深めることが望ましい。比較文学研究の研究書が図書館にあるので、それを紐解くようにすると良い。イギリス文学から影響を受けた作家や作品を列挙してあるので、関心のある作家や作品を読み比べることが望ましい。日本の近代絵画が西洋絵画の影響下で育ち、固有の世界を築いたように、現代日本文学の世界もまた同様であることを知る事が可能である。</p>		
スケジュール	<p>前期： 7月中旬頃までに、レポート課題（1）を提出すること。 9月中旬頃までに、レポート課題（2）を提出すること。</p> <p>後期： 11月中旬頃までに、レポート課題（1）を提出すること。 翌年1月中旬までに、レポート課題（2）を提出すること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材を十分に理解し、課題で求める内容に十分に答えているか。着想、論旨の展開、結論の導き方などが十分であるか否かを精査する。
	平常評価	20%	レポート提出の期限を守っているか。科目の求める水準、着想、独創性、記述力、論理性などが水準に到達しているかを念頭に採点する。
履修者への要望	<p>比較文学の方法を身につけ、イギリス文学と現代日本文学を比較できるようになると、現代日本文学の地平が大きく広がると信じる。夏目漱石、太宰治、島崎藤村などの大作家もまたイギリス文学との邂逅を経て、独自の世界を構築していったことが理解できるようになる。ドラマや映画においても同様で、比較文学を学ぶことで、是非とも近代文学の諸相を会得して欲しいと考える。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： サミュエル・スマイルズ（訳者中村正直） 教材名： 『西国立志編』（講談社，1981年）ISBN:978-4-06-158527-0 1,300円+税
	明治4年，中村正直によって翻訳された原著『セルフヘルプ』（『西国立志編』）は，近代日本の黎明期である明治のインテリに多大な影響を与えた本である。福沢諭吉の『学問のすすめ』と共に明治の大啓蒙書と呼ばれている。
参考図書	高橋昌郎 人物叢書『中村敬宇』（吉川弘文館，1988年）ISBN:978-4-64-205108-8 2,000円+税
履修上のポイント	中村正直がイギリスに留学し，そこで学び，目にしたものはイギリスの功利主義の思想であった。イギリス人の友人から餞別として贈られた『セルフヘルプ』を，中村は愛読し，翻訳を思い立つ。『西国立志編』として上梓されるや，明治の若き詩人や作家のほとんどが耽溺し，そこから西洋の偉大な思想家，文人，政治家の生き方や人生観を学ぶに至る。従って，現在においても十分に通用する人生の知恵袋としての『西国立志編』を分析することによって，功利主義とはどんな思想であるかを，まとめて欲しい。
レポート課題 1	中村正直（敬宇）がサミュエル・スマイルズの『西国立志編』を翻訳するに至った思想的背景を述べなさい。
レポート課題 2	『西国立志編』を読み，イギリス功利主義がどんな思想であるか述べなさい。（その際に，扱われている人々を具体的に取り上げ，記述すること）

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 島崎藤村 教材名： 『藤村詩集』（新潮文庫，2008年）ISBN:978-4-10-105516-9 430円+税
	日本の詩歌の黎明を告げる藤村の詩集は，甘酸っぱい雰囲気とは別に，その内側において西洋の近代精神や思想との軋轢の中で，青年の魂の苦悩がにじみ出ている。「情念」や「罪」という言葉を取ってみれば，それがうなずける。この詩集で扱われるモチーフやテーマは，猿や馬のイメージをともなう，人間（自己）の内面が浮彫になる。ここには，西洋文学，とりわけイギリス文学から学び，さらには発展させる藤村独自の世界がある。藤村の小説を理解する上で，詩集の分析は欠かせない。浪漫的な解釈ではなく，人間の内奥に潜む情念や罪の分析を通して，この詩集の新たな解釈を心掛けて欲しい。
参考図書	シェイクスピア『ハムレット』（岩波書店，2002年）ISBN:978-4-00-322049-8 900円+税
履修上のポイント	明治という時代の日本文学は，西洋文学との出会いによって，それまでとは異なる文学の形態を整えている。特に，近代自我の覚醒に伴う「罪」の自覚は，太宰や芥川の文学においても継承されていることが分かる。西洋の近代思想なり精神なりがどのように藤村に移入されたかを念頭に置きながら，文献を読み，かつレポートを仕上げて欲しい。
レポート課題 1	この詩集には，「罪」という言葉が多用されている。それらの意味は作品を読み進むにつれ，変化している。そのことに目をとめ，四つの詩集における「罪」の内実について考え，記述しなさい。
レポート課題 2	藤村は，詩集を出版した後，詩人から小説家への見事な転身をはかる。なぜ，小説家へ転身したのか。そこには西洋文学，とりわけイギリス文学を学ぶ中で，直面したテーマやモチーフがあった。レポート課題（1）との関わりで，記述しなさい。